

令和8年度第1回木津川市介護保険事業計画等策定委員会 会議経過要旨

会 議 名		令和8年度 第1回木津川市介護保険事業計画等策定委員会			
日	時	令和8年7月23日（木） 午後1時30分～		場 所	木津川市役所5階 全員協議会室
出 席 者	委 員	■安藤会長 ■馬副会長 ■田中副会長 □光井委員 ■高岡委員 □亀井委員 ■鷺田委員 □石塚委員 ■辰巳委員 ■山口委員 □松森委員 ■坊委員 ■武田委員 □甲川委員 ■高津委員 ■辻委員 ■佐村木委員 ■入江委員 □坂本委員 ■田中委員 ■錦織委員			
	事 務 局	米田健康福祉部長、松下健康福祉部次長高齢介護課長事務取扱 木村高齢介護課主幹、辻高齢介護課長補佐、 宇野介護保険係長、今井高齢者福祉係長、 吉田主任、前西主任、奥田主任、 株）ジャパンインターナショナル総合研究所 塚田氏			
傍 聴 者		なし			
報 告		（1）高齢者実態調査等の実施について			
会 議 結 果 要 旨		1 開会 開会宣言 委員15名の出席により、会議が成立していることを確認した。 2 会長あいさつ 3 自己紹介 委員の変更により、紹介を行った。 4 議事 安藤会長が議長となり、議事を進行した。 ① 計画策定スケジュールについて 事務局より令和8年度計画策定スケジュール工程表により説明した。 ② 第10次木津川市高齢者福祉計画・第9期木津川市介護保険事業計画の 進捗状況等について 事務局より資料1～資料3により説明した。 ③ 第11次木津川市高齢者福祉計画・第10期木津川市介護保険事業計画 について 事務局より資料4により説明した。 ④ 高齢者実態調査等の結果報告について			

	事務局より資料5により説明した。 5 閉会
会議経過要旨 ○：委員 ⇒：事務局 ◎：議長	1 開会 会議結果要旨のとおり。 2 会長あいさつ 3 自己紹介 会議結果要旨のとおり。 4 議事 (1) 高齢者実態調査等の実施について (資料1～資料5) 【説明】 資料に基づき説明した。 【主な質疑・応答、意見】 ○報告書を取りまとめ、データ化していただき、大変な取組をされたと思います。ただ、報告書では正式な名称のみが使われており、「ケアマネ」のように普段使う言葉と結びつきにくいです。介護福祉の専門家でない委員も多いため、カッコ書きでも良いので、分かりやすくする工夫をお願いします。 ○地域包括ケアシステムの福祉サービスの提供について伺います。 緊急通報システムについて、回線がNTTの回線しかダメと聞いたのですが、NTTの回線の家庭ばかりではありません。41人の利用者というのは、民生委員さんを通して申請されているということでしょうか。 ⇒申請は本人・家族やケアマネを通じたものが中心です。近年は固定電話を外す家も増え、電話回線を要しないタイプの緊急通報システムも導入しており、NTT回線でなくても申請できます。ご案内いただく際は「NTT回線がなくても大丈夫」とお伝えいただければと思います。 ○民生委員の定例会等で制度の変更点を説明いただけると助かります。 ⇒承知しました。 ○地域活動への「参加意向」は高いにもかかわらず、実際に参加している割合は低くなっています。この意向と実態のギャップについて、何がネック（阻害要因）になっているのか、分析はされていますか。 ⇒分析まではできていません。 ○ニーズ調査（本人対象）と在宅介護実態調査（介護者対象）で回答傾向が類似しています。

	在宅生活の継続に必要なサービスとして、配食サービスや外出支援を求める声が多いのですが、今後どのようにしていくかが課題です。 介護保険サービスを利用しない理由に「利用料の支払いが難しい」「利用したいサービスがない」「手続きが分からない」がありました。単品のサービスを組み合わせると利用料が多額になり、夜間・早朝の排泄介助等では区分支給限度基準額を上回ってしまいます。こうした点を汲み取っていただきたいと思います。 ○資料②の１ページ右にある目標値について、掲げている数字の根拠はどこから来ているのでしょうか。また、今後は評価・検証をしていくということでしょうか。 ⇒目標値は「一律〇%上げる」といった設定ではなく、現状の実績から努力すれば達成可能と考えられる水準を設定しています。もう少し努力すれば改善するという考えで事業を進め、現状から一歩進めるために何をすべきかを計画の中で検討していきます。 ○「もう少し努力すれば改善する」という趣旨で理解しました。 ◎人口減少・少子化の問題を、他人事ではなく捉えていただきたいと思います。人口が減っている背景（子どもが減っていること）に目を向ける必要があり、財政を投入すれば人口が増えるのかという点も含めて考えるべきです。 5 閉会 以 上
その他特記事項	なし